

幕府ハ無實ノ罪ニテ鷹司以下處罰ス

本條約ヲ許可シ尊融親王ヲ幽閉スルハ北條足利ノ暴横ニ等シ

一兩年ノ内ニハ國内邪教ニナヒキ奸賊ハハ明ラカナリ

内八家門方將軍家ヲ補佐シ内政ヲ修メ外ハ諸侯ノ武備ヲ整ヘ神州ノ亂ヲ安ゼン

萬延元年三月

鷹司殿・近衛殿・三條殿等御憤御落飾被遊候様取計、其他諸大夫始何一ツ罪科無之ものを召捕、關東迄差下し、夫々非道之所置いたし、專虎狼之威ヲ以天下を屏息せしめ、畿内之開港并邪教寺取建等本條約差許候得也、青蓮院宮様御英邁を奉忌御失德有之様申觸、御寺務取放奉幽閉候所業、乍恐 玉牀も奉迫候趣顯然之り、北條・足利之暴横之均く、不共戴天之國賊と云へし、嗚呼此儘ニ打過なり、赫々たる神州、一兩年を不出、内地之奸民邪教之靡キ、彼等勢焰を助け

皇國之奸賊平身低頭して彼か正朔を奉する事、掌の上ニ視るか如し、苟モ人心有之もの、實ニ痛哭長大息に不堪事ならずや、雖然、

東照宮之德澤未地に墜ず、御三家御一門ニ尾張殿・水戸殿・一橋殿・越前家・阿波家・因田德、鳥取藩主、州家之如き 德川家輔佐之良將も有之、外諸侯も薩州・仙臺・福岡・佐賀・長州・土州・宇和島・柳川等天下之爲忠憤之念日夜不怠、有名之諸侯も不少候得也、内ニ則御加門方將軍家を奉補佐専内政を脩め、外ニ則有名之諸侯一意ニ忠力を盡し武備を整なハ 神州之恥辱を一洗して、叡慮を奉要候事天地神明に誓ひ疑有まし、依之當今事態々概略を記して天下之公論折衷を待、左袒して天下を興起せんと欲する所也、周之衰る婦人すら不恤諱して周家

彼ハ徳川家ノ罪人神州ノ逆賊ナリ天下諸藩同志ト共ニ天下ノ姦賊ニ神罰ヲ加フル者也

之亡事<sup>(一)</sup>を憂<sup>(二)</sup>しに、まして三千年余之君恩を戴<sup>(三)</sup>ぎ、貳百年來

東照宮之恩澤に沐浴するもの誰歟報效之念ならん、草莽之小臣痛憤切齒之余り寢食を安んぜず日夜遺憾<sup>(一)</sup>て時勢を憂<sup>(二)</sup>しか、彼か罪惡追日增長す、豈唯 德川家之罪人而已ならんや、實ニ神州之逆賊なり、然則天地神人同憤之時ニ乗し、天下諸藩之同志と同心して天下之姦賊を誅伐し、神罰を蒙らすもの也、

(卷 紙)

二 三月三日 大老井伊直弼 頭掃部 屈書 (案)

○史料編纂所所藏「幕府沙汰書」ハ、一、狼藉應戰屈書、二、同屈書別紙(彦根藩士死傷者書上)、三、水戸藩士死骸引取届ノ三通ヲ收載ス、一ト本案ト文言ノ異ナル箇所ヲ注記セリ、又懸紙添付位置ハ元來ノモノカ後考ヲ要ス、

今朝登城中外櫻田門外ニテ狼藉者駕ヲ襲撃ス一人討取ルモ其外逃亡ス供頭等手負アリ右御届申達

今朝登 城懸ケ、外櫻田御門外松平大隅守門前上杉彈正大弼辻番所迄之間ニあり、狼藉者鐵炮打掛、凡貳拾人餘り拔連、駕を目懸ケ切込候ニ付、供方之者共防戰致し、狼藉者壹人討留、其餘手疵深手等爲負候ニ付、悉く逃去申候、尤供頭初即死手負之者何人御座候、此段御届申達候、以上、

萬延元年三月

九